

半切四分の一に書く(4)

締切り 四月二十三日(必着)



神谷葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のこと、その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×一七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕飛花點書冊

※「點」は「点」の「冊」は「册」の旧字体です。

〔大意〕ちり落ちる花びらが書物にのる。

〔解説〕

- ・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。
- ・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤濁も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て、表現が豊かになります。
- ・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べることが肝要です。
- ・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。

〔作品の出し方〕

- ▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×一七、五cm)に書いて下さい。
- ▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フェルトペン・筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんので、どなたでも出品できます。ただし出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位は発表はしません。

準初段から六段まで

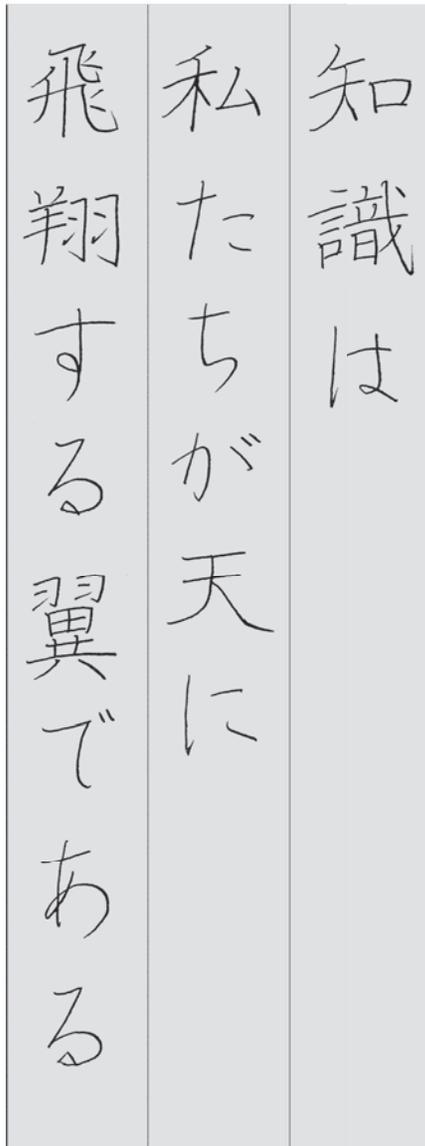
新入から1級まで

〔解説〕



◎楷書は文字の組み立ての基礎ですから、がっちりとして一点一画を大切に運ペンする事が大事です。

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

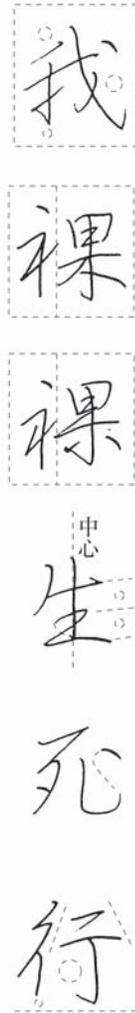


おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

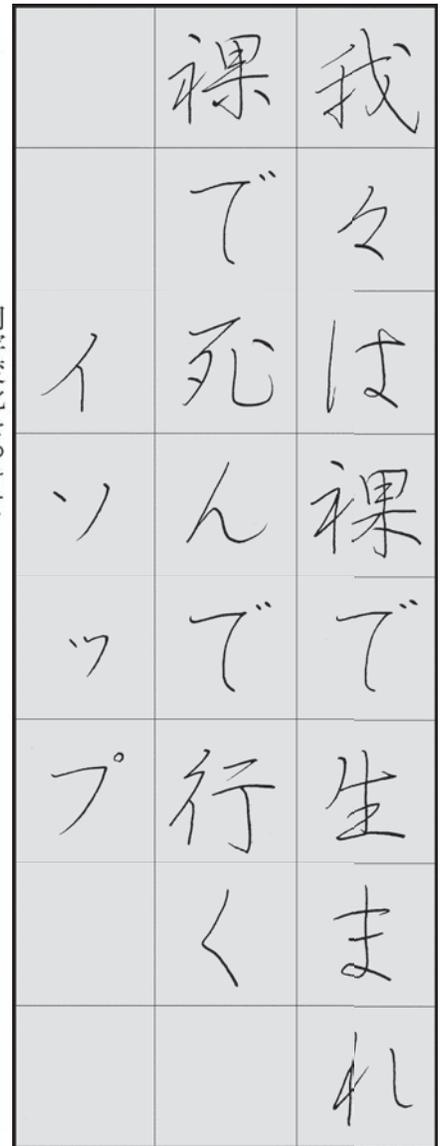
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



同字変化をつけて



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

▼師範||楷書

▼教範・書範||行書

孟子

則ち書無きに如かず

尽く書を信ずれば

◆5月課題予告(行草または草書)

人間の知識は留まることなく、どこまでも人類を高めへと運んで行くのです。

鳥に翼があって自由自在に大空を飛び回るように、人間にとっては知識が、自由に生きるための翼なのです。

イギリスの劇作家

シェークスピア(一五〇一—一六一六)

★知識は…(書体||楷書)

愚神礼讃

名を売らない

隠れた才能は

◆5月課題予告(楷書)

をつなぐ、それで十分なのです。

人生を楽しみ、次の世代へ未来の希望

を。人生を楽しみ、次の世代へ未来の希望

とより、苦しみも悲しみもすべて消え去る

の世で、何もしないで死んでいく

この世での幸、不幸は、すべて「死」と

ともに終わります。地位や名誉や財産はも

となく消え去ります。古代ギリシャの寓話作家

イソップ(前六世紀頃)

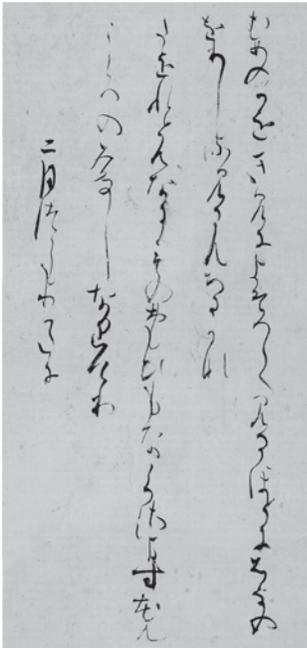
★我々は…(書体||行書)

締切り 四月二十三日 (必着)

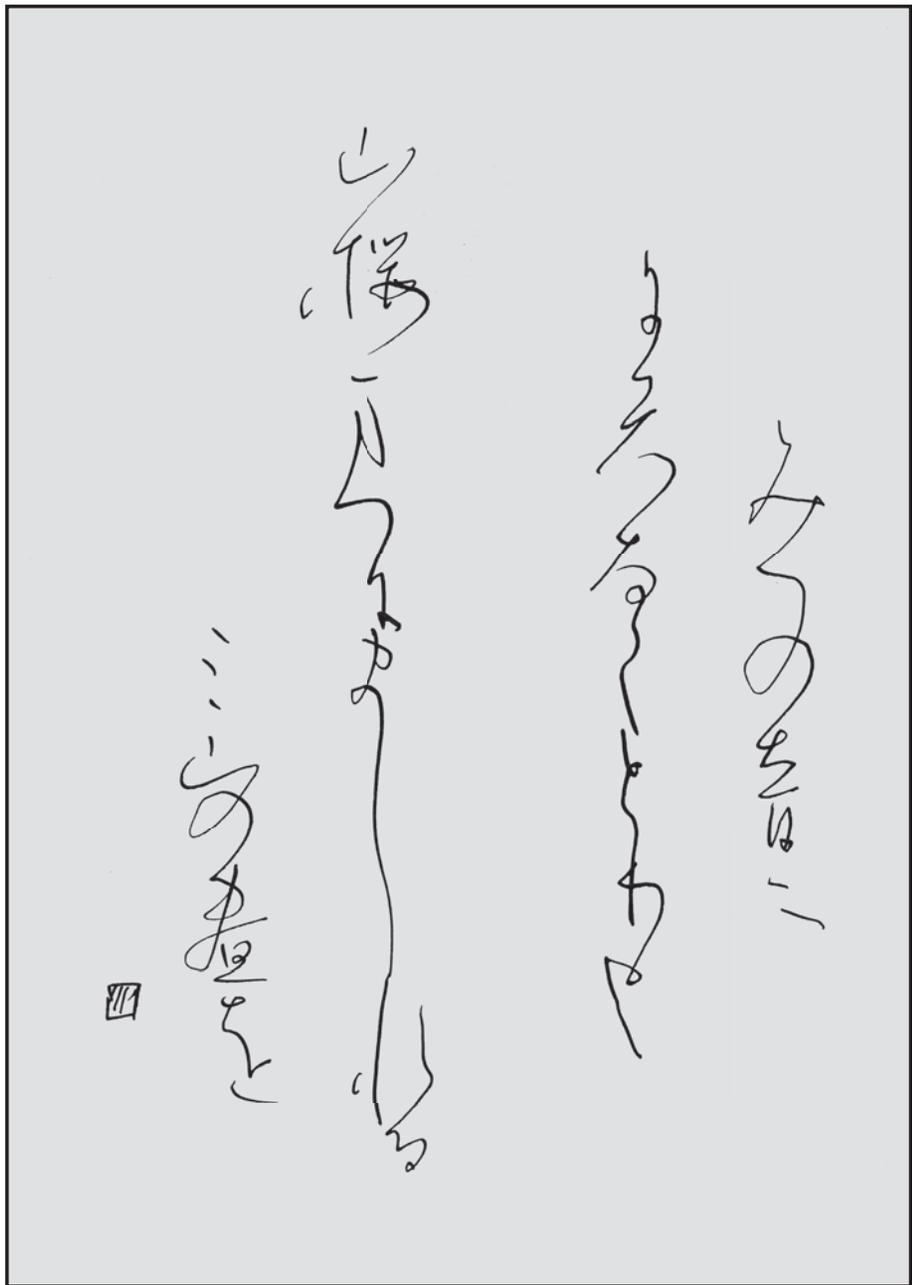
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

いずみしきぶぞくしゅうぎれ
和泉式部続集切



むめのかをきみによそへてみるほどにはな
をりしるみるもちるかな
たをれどんなにものおもひもなぐさま
ころのみなしなりけり
二月つごもりかたに

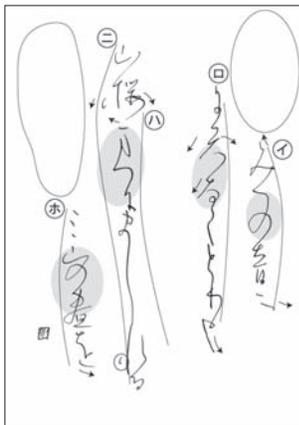


水の音に似て啼く鳥よやまざくら
松にまじれる深山の昼を

〔歌意〕真昼のこの深い深い山の中で
は、松の木に交じって山桜の白い花が
咲き、水の流れる清らかな音に似た音
色で鳥が鳴いている。

〔出典〕名歌即訳 若山牧水

〔解説〕



- ①と②、①と③、①と④、②と③、②と④、それぞれ呼応。
- 行の中の密の動き大切。
- の場所・方向大切。
- ↙ の方向大切。
- 形だけを見るのではなく、リズムをつかんで書くこと。

◆5月課題予告

故郷に帰り来りて先づ聞くは
かの城山の時告ぐる鐘

締切り 4月23日(必着)

お花見の季節がやってきました。
春のやわらかな青空に映える淡い
ピンク色は心を和ませてくれます。
満開の爽快さはもちろんですが、
はら〜と散りゆく桜吹雪が私は
大好きで、とても楽しみです。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

◎手本は水性ボールペン使用

お花見の季節がやってきました。
春のやわらかな青空に映える淡い
ピンク色は心を和ませてくれます。
満開の爽快さはもちろんですが、
はら〜と散りゆく桜吹雪が私は
大好きで、とても楽しみです。

横 書 き 課 題

お 尾 ごう すい こう 郷 翠 光 書

地震エネルギーを吸収する新工法
により、超高層ビルが完成した。
岡山県赤磐市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 4月23日(必着)

要
道
於
斯
為
大

要
道
於
斯
為
大

要
道
於
斯
為
大

〔出典〕孔子廟堂碑（626～633）〔筆者〕虞世南（558～638）

〔読み〕要道は、斯に於いて大いなるものと為らん。

準初段から師範まで

奥村暢之臨

花
氣
晴
雲
暖

〔読み〕花氣晴雲暖かなり

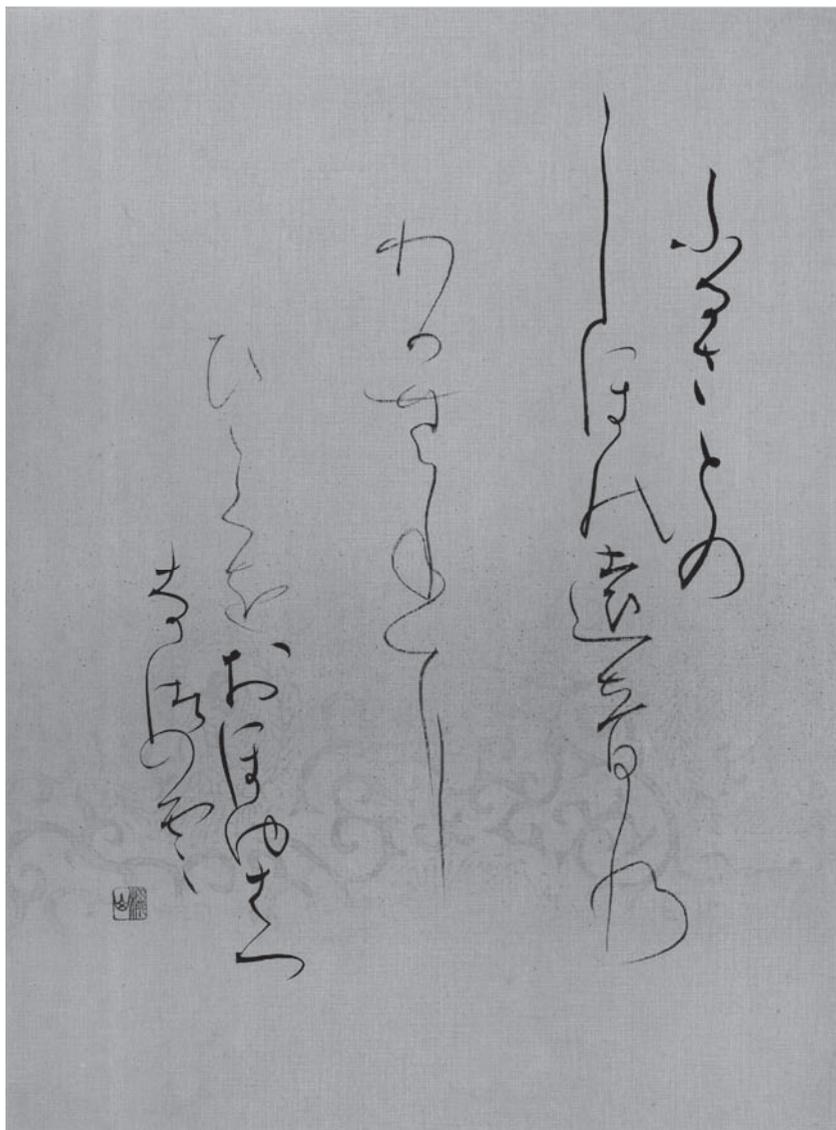
〔大意〕大気がみちみちて春の晴天の雲をなして暖かである。

新入から1級まで（行書）

須田一葉書

一般部毛筆かな課題

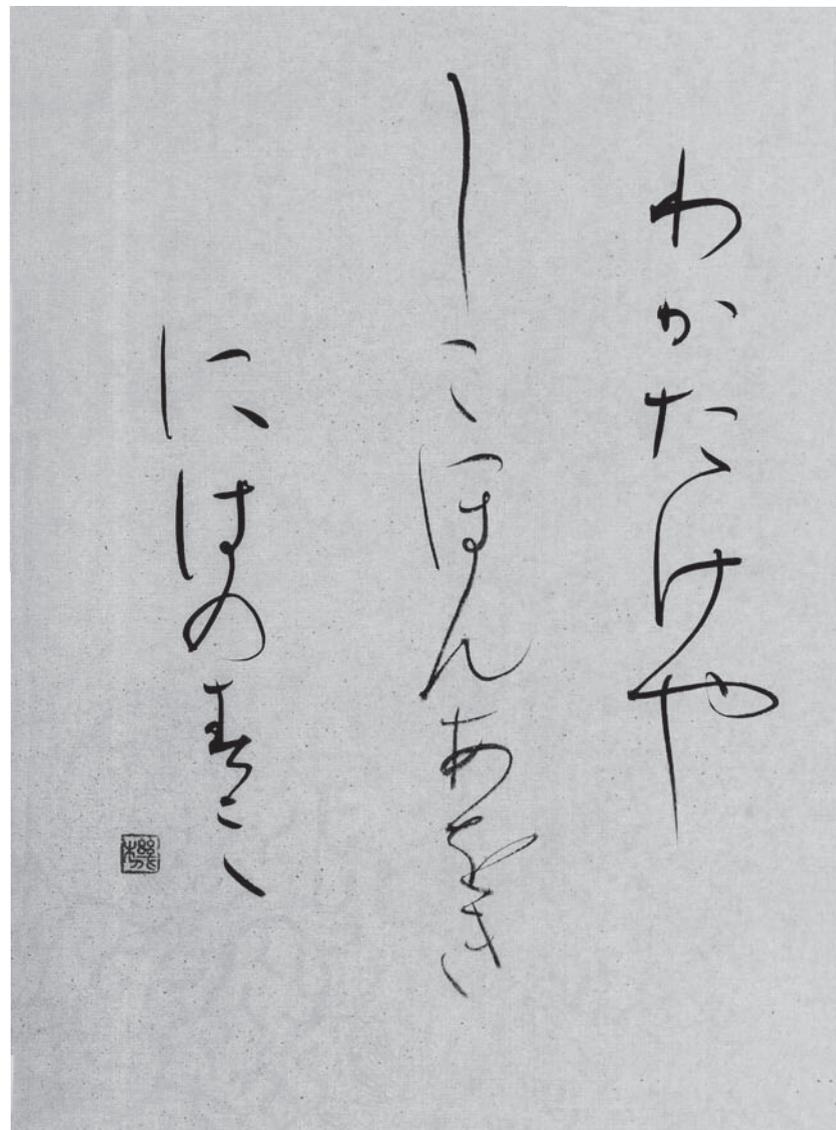
締切り 4月23日(必着)



ふるさとの潮の遠音のわが胸に
ひびくをおほゆ初夏の雲

〔出典〕与謝野晶子

〔歌意〕少女の日に聞いて未知の憧れに胸をときめかせたあの故郷の潮の遠い昔が、いまわたしの胸にひびいてくるようだ。初夏の雲を望み見ると。



若竹が四五本青き庭の隅

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

〔出典〕正岡子規

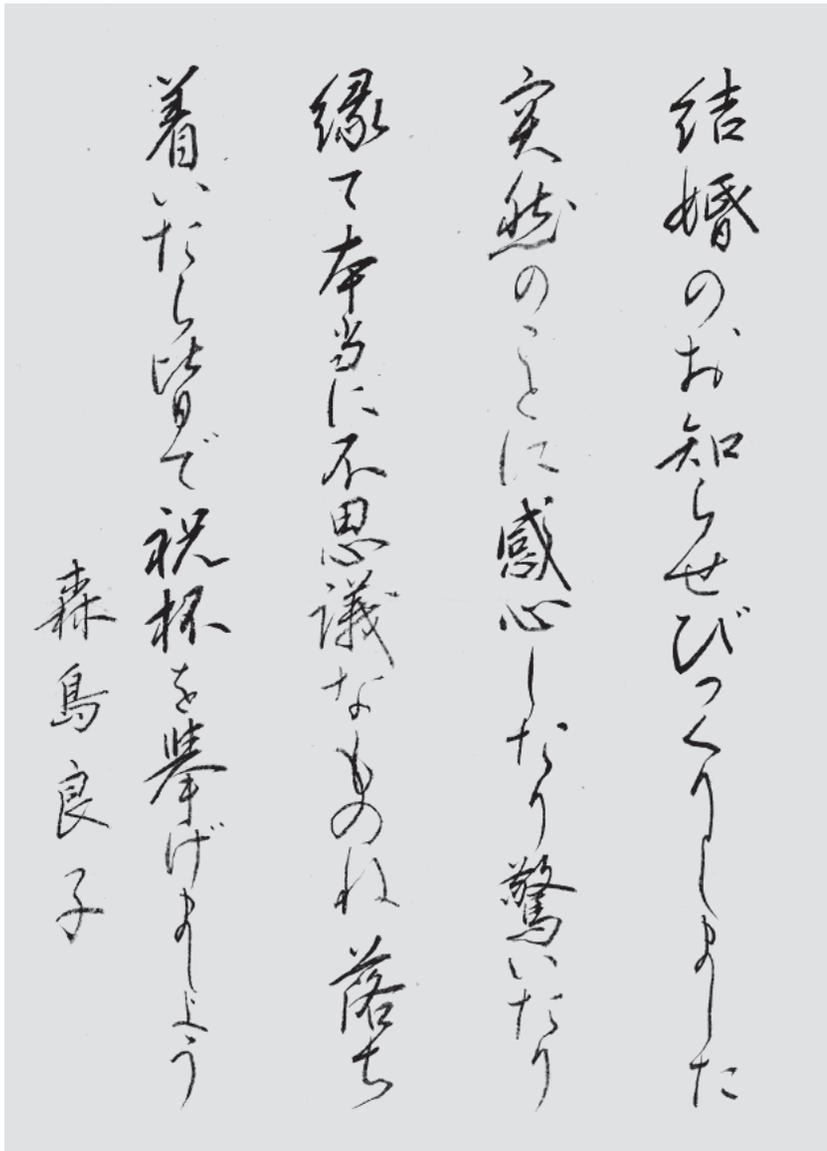
〔句意〕若竹が四五本、庭の隅にみられる。そのみずみずしい姿はとくに目をひかれるものがある。

新入から1級まで

浅井機山先生書

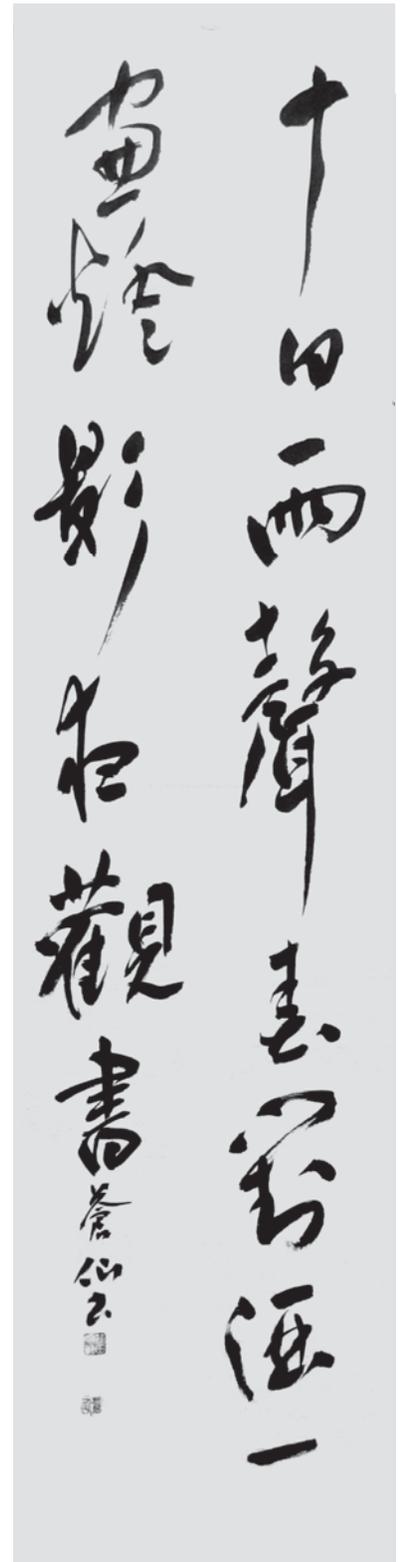
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 華 玲 田 樋



締切り 四月二十三日(必着) 半切(一三六cm×三五cm)

荻 田 蒼 仙 書

とうかのうせいはるのさけにたいす
十日雨聲春対酒
いっそうのとうえいよるしよをみる
一窓燈影夜観書
〔大意〕春日の雨降る
宵に酒を飲みながら、
うす明かりの中、読書
を楽しむ。
初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔条幅解説〕坂東玉三郎が寝そべった姿をしても
金になります。私が同じ事をしたら、人に不快感
を与えるだけです。そこが平素の精進の差だと思
うのです。字形を変形・デフォルメしても、美し
いものでなければなりません。前途遠慮でありま
す。

結婚のお知らせびっくりしました
突然のことに感心したり驚いたり
縁で本当に不思議なものね 落ち
着いたら皆で祝杯を上げましょう

(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

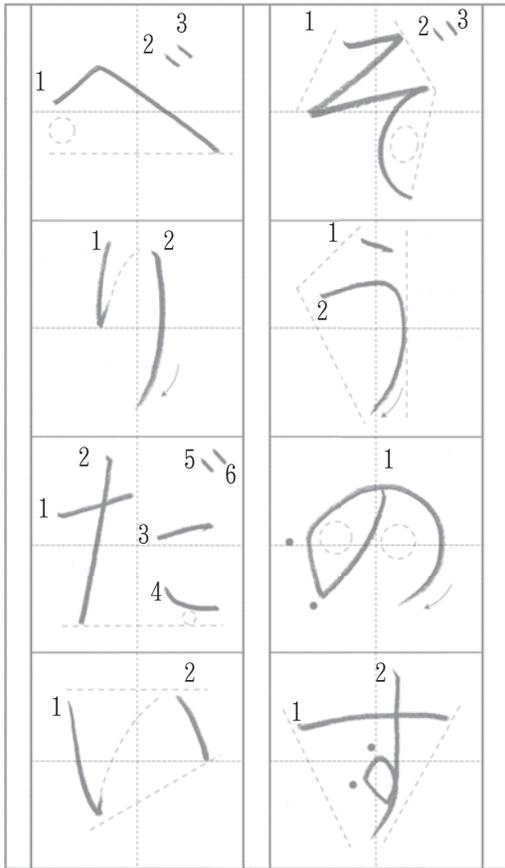
〔条幅・細字作品の出し方〕

■ 新人から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわり
ます。

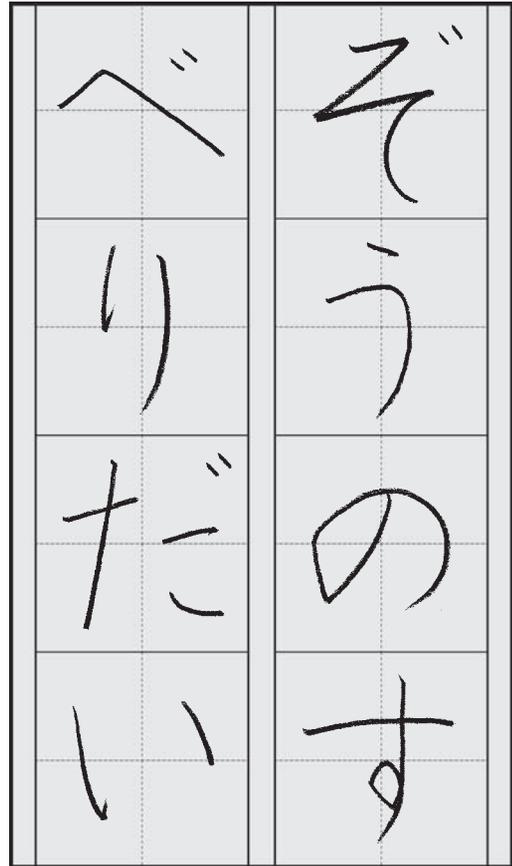
■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



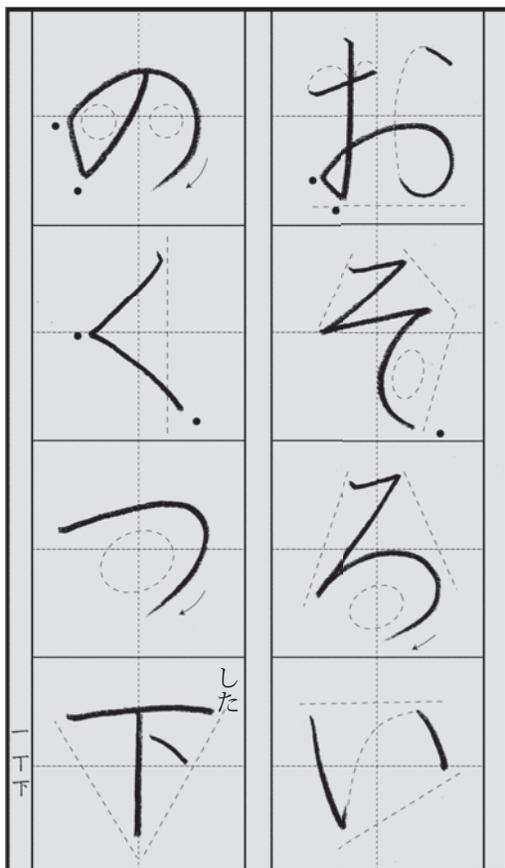
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



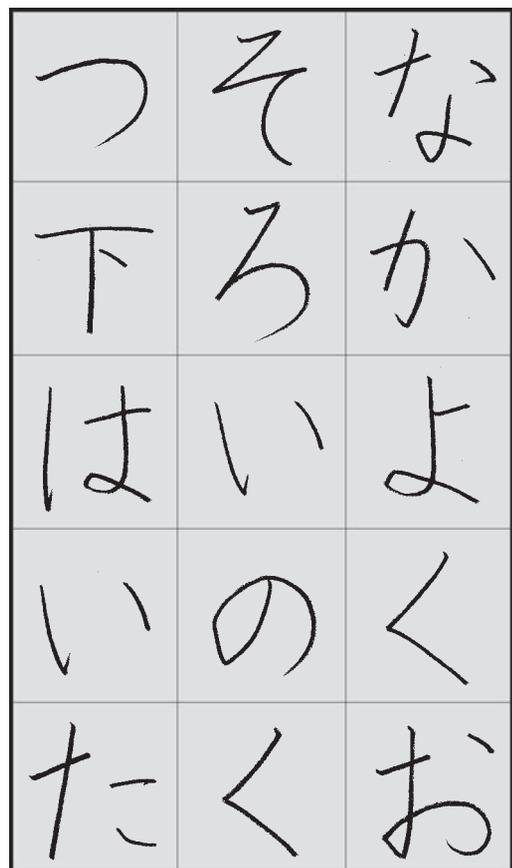
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注)えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



新
小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

の	大
サ	大きな
イ	角
を	

おお
一ナ大
この
ア角角角

新入〜1級

近	角	大
く	の	き
で	サ	な
見	イ	体
た	を	と

新小二年

準初段以上

心	ま
に	ち
銀	の
行	中

シン
ギン
コウ
チュウ

新入〜1級

が	に	ま
あ	駅	ち
り	や	の
ま	銀	中
す	行	心

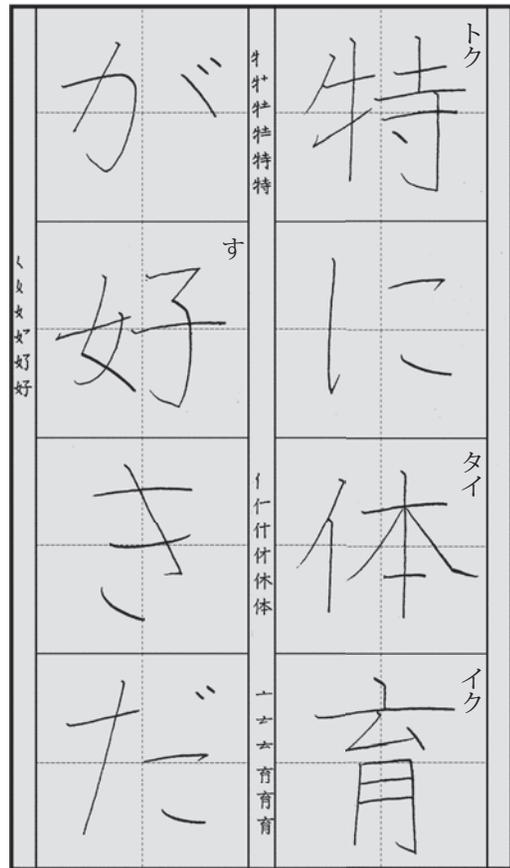
新小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新小四年

(全員)



新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- * 用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- * 六月縮切り分までは、この方法を続けます。
- * ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- * 七月縮切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

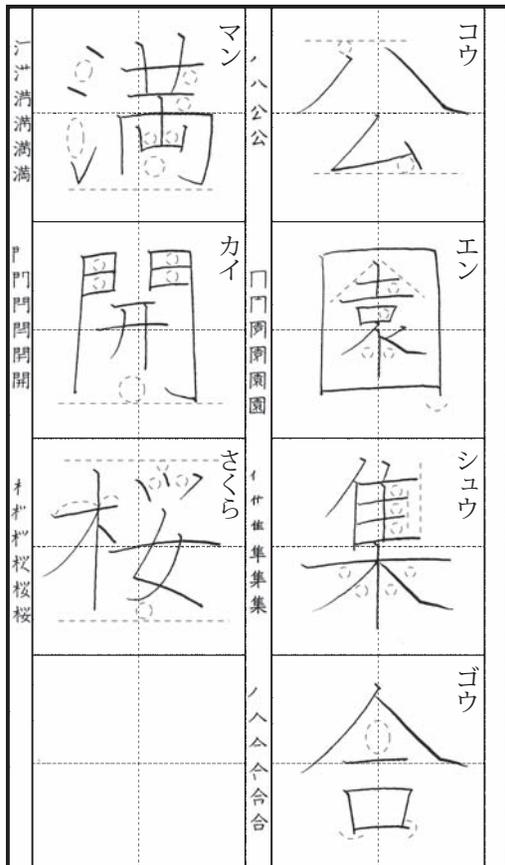
新小五年

(全員)



小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)



小四年以上
岡嶋桂川書

〈用具 自由(黒色に限る)〉

イイ竹竹竹竹 作	つく(り) 農
む(づ)か(しい) 難	カ 家
き(く) 聞	ヤ 野
	サイ 菜

解説(よく見て習いましょう)

さ	作	農
を	り	家
聞	の	で
い	難	野
た	し	菜

新小六年

(全員)

選	大	陸
手	会	上
に	で	部
な	代	の
る	表	県

新中二・三年

(行書)

先	舎	初
生	や	め
に	担	て
緊	任	の
張	の	校

新中一年

(行書)

こどものひろば

▼今月は、席書大会開催に合わせて特別に席書課題をひろばの課題とします。本番に向けてサインペンで練習してみましょう。

▼4行用紙のない場合は、いつも通り5行用紙に書いても構いません。体裁よく収めてください。用具も自由です。

ス	旧	人	世
プ	ソ	工	界
ー	連	衛	初
ト	が	星	の
ニ	上	は	
ク	げ		
号	た		

新小六年

な	う	光	夜
が	つ	っ	の
れ	く	て	お
星	し	き	空
	い	え	に
		た	

新小三年

と	そ	て	ぎ
ぶ	ら	つ	ん
	を	ど	が
		う	

幼年

永	宇	発	ど
遠	宙	達	ん
に	の	し	な
続	神	て	に
く	秘	も	科
	は		学
			が

新中一年 (楷書)

行	遠	乗	う
き	く	り	ち
た	の	こ	ゆ
い	星	ん	う
な	へ	で	船
			に

新小四年

ゆ	な	ひ	う
め	る	こ	ち
で	の	う	ゆ
す	が	し	う
		に	

新小一年

活	様	通	人
躍	々	信	工
し	な	・	衛
て	分	気	星
い	野	象	は
る	で	な	ど

新中二・三年 (行書)

は	人	う	月
て	類	ち	着
し	の	ゆ	陸
な	ゆ	う	か
く	め	旅	ら
	よ	行	
		へ	

新小五年

み	一	に	夕
つ	ば	し	が
け	ん	の	た
た	ぼ	空	の
	し	に	

新小二年

幼年しょうねん〜小二年
玉樹たまき小華しょうか書





小三く小五年

水みづ野の香こう竹ちく書

中二・三

陸上

小六

野菜

小六(中二・三年)

奥村暢之書

※行書は線の連なりよく書こう。

任 野菜
陸 上
担 任

中一

担任